

おじいちゃんの知恵袋を学ぼう！

まちづくり工作教室

おもちゃづくりの体験を通して、子どもたちに昔の遊びを知ってもらおうと「まちづくり工作教室」が8月18日、五十市地区公民館で開催されました。五十市地区まちづくり協議会が今年初めて企画。参加した地元の小・中学生66人は、協議会のメンバーから、道具の使い方の説明を受けた後、竹とんぼや水鉄砲などを作りました。温水伶真君（五十市小5年）は「水鉄砲作りに興味があつた。作り方が分かって良かった」と早速、出来上がった水鉄砲で友だちと水かけを楽しんでいました。



ヌルヌルしたウナギに悪戦苦闘

大淀川子どもサミット

大淀川子どもサミットが8月19日、沖水川河川敷のせせらぎ水路公園で行われました。川遊びや環境について学ぼうと市内外の親子ら約300人が参加。水着姿の子どもらは、水路に放流されたニジマスやウナギのつかみ取りを楽しみました。また、水の怖さを知ってもらおうと設置された降雨体験装置で、時間雨量180^{mm}という観測史上一番の大雨を体験していました。小林優佳さん（沖水小1年）は「ウナギはヌルヌルしていたけど、捕まえられてよかった」と笑顔で話していました。



アイデア満載！ 生徒の力作展示

都工展

都城工業高校の生徒による都工展が8月25日・26日、イオンモール都城駅前店で開催されました。工業高校の「ものづくり」の活動を知ってもらおうと生徒らが製作した手づくりの作品などを展示。来場者らは、生徒に教えてもらいながら一緒にLED電球と廃材を利用して指輪を製作したり、無線で操作する模型自動車を動かしたりして楽しんでいました。家族と訪れた柳橋祐太君（郡元町）は「ボタンを上手に押したらお菓子が出て夢中になっていました。」と笑顔で話していました。



電気のお助けマン 参上！

児童館施設電気無料点検

8月25日、市内の児童館で都城電気工事業協同組合青年部が電気設備の安全点検を行いました。部員15人が2班に分かれて、4カ所の児童館を訪問。館内の蛍光灯を取り外して清掃した後、寿命の来た蛍光灯を新しいものに交換していました。また、節電対策として白熱球をLEDに換えたり、漏電がないかを点検したりしてボランティア活動に汗を流しました。太郎坊児童館の黒岩裕子さん（蔵原町）は「危険な状態とは気付かない所も直してもらい、安心しました」と感謝していました。





雑草を一掃 せせらぎを楽しんで
いきいき大淀川クリーン大作戦

8月26日、大淀川支流の年見川でいきいき大淀川クリーン大作戦が行われました。小さな親切運動都城支部の呼び掛けで流域の自治公民館や市内の企業など、約50団体900人が参集。神柱公園近くの北泉橋から下流約1・6キロを除草したり、ごみを拾ったりして清掃活動に汗を流しました。ボランティアのクラブ活動で参加した伊集院珠美さん（聖ドミニコ学園3年）は「清掃で川が奇麗になり、自分の心も奇麗になった気がします」と河川敷に集めた雑草をトラックに積み込んでいました。



長寿者への感謝の気持ちを込めて
長寿祝いの湯のみ茶わん窯出し

敬老の日を前に8月31日、吉之元町の都城焼霧島工房で長寿者に贈られる湯飲み茶わんの窯出しが行われました。同窯元の宇都野あき子さんが、毎年ボランティアで市内在住の100歳を迎える長寿者へ贈り続けて今年で34回目。今年も、市内最高齢の重留シンさん（山田町山田・107歳）を含む市内の長寿者57人へ贈る名前などが書かれた湯飲み茶わんを、約1カ月かけて焼き上げました。宇都野さんは「これからも元気で長生きして欲しい」と一つ一つ焼き上がりを確かめていました。



砂上で舞う華麗なプレー
JBVツアー2012

ビーチバレーのJBVツアー第4戦が8月31日から9月2日まで、霧島ファクトリーガーデンで開催されました。浅尾美和選手など国内トップのアスリートたち18ペア計36人が出場。砂上で繰り広げられるプロのプレーを間近で見ようと多くの観客が訪れ、目当ての選手に熱い声援を送っていました。1戦目をストレート勝ちした山之口町出身の徳丸信代さんは「地元開催は応援が力になって、相性がいいです。1点ずつ積み重ねて勝利したい」と次の試合に向けた抱負を話していました。



音楽で都城を世界に発信！
都城市特派大使委嘱式

市長室で9月12日、全国各地で音楽祭をプロデュースしているバイオリニストで作曲家の山内達哉さんに特派大使を委嘱しました。新市になって34人目。大学時代から作曲を始めた山内さんは、都城をテーマにした曲を作曲し、古里への思いを音楽で表現し続けています。また、東日本大震災の被災地を励ます曲を作るなど、復興支援に向けた活動にも意欲的に取り組んでいます。長峯市長から激励を受けた山内さんは「音楽に乗せて、都城の魅力を世界にPRしたい」と抱負を話していました。



笑顔と感動を届け続けて
もうすぐ 300 回!!

ロビーコンサートを企画運営する
おたまじゃくしの会

宮脇 葉子 さん (右から 2 番目)

宮永 寿子 さん (右から 3 番目)

永野 朱美 さん (一番左)

船木 聖子 さん (一番右)

市 役所西館1階ロビーで、第1・3木曜日の12時20分から開催される市民が主役のロビーコンサート(通称ロビコン)。このロビコンを企画運営するのが、宮脇葉子さん(上町)が会長を務めるおたまじゃくしの会です。

ロビコンは、平成5年に都城きりしまライオネスクラブが、結成10周年の記念事業として自動演奏機能付きピアノを、市に寄贈したことをきっかけに始まりました。

「始めた当時は、出演する人を探そうにも面識がなく、いろいろなことが手探りで苦労しました。今では出演を希望する人も多く、



調整するのが大変なくらいです。そして今一番うれしいことは、来場した人たちがみんなが、笑顔で帰ることです」と話す宮脇さん。スタートから一緒に頑張ってきた副会長の宮永寿子さん(中原町)も、充実した表情を浮かべます。

年代が異なる4人。永野朱美さん(広原町)と船木聖子さん(志比田町)が、宮脇さんと宮永さんを気遣いながら、4人協力して会場の設営や撤去、司会進行をこなしています。4人は「常に聴く人の目線で、皆さんに楽しんでもらえる運営を心掛けている」と来場者への心配りも忘れません。

健康づくりも兼ねたボイストレーニングを、ソプラノ歌手でもある永野さんから受けている宮脇さんと宮永さん。これからの目標を尋ねると、「開催400回を目指したい。できればロビコンにも出演して、皆さんに歌声を披露したいです」と熱い思いを話してくれました。

平成6年にスタートしたロビコンは、10月16日に開催300回を迎えます。そこで、10月15日(月)・19日(金)を「300回記念ウィーク」とし、いろいろなジャンルの音楽を披露してもらいます。皆さんのご来場をお待ちしています。

環霧島探訪

— かんきりしたたんぼう —

Vol.6

今月は、ゴツタンの普及活動が続ける曾於市の永山成子^{なりこ}さんを紹介します。

◎問い合わせ 曾於市企画課 0986-7618802

南 九州に古くから伝わる楽器「ゴツタン」は、板三味

線や箱三味線とも呼ばれています。かつては、多くの農家で演奏され、その素朴で繊細な音色は、厳しい生活の中でやさやかな楽しみとして親しまれていました。

衰退したゴツタンに再び注目が集まるようになったのは、故荒武タミさんの活躍にあります。国立劇場などでの演奏でその音色は人々を魅了し、ゴツタンの里・財部に現在も受け継がれています。

財部北小学校に勤務する永山成子さんは、ゴツタンの音色を絶やさぬようにさまざまな方面で尽力しています。

永山さんがゴツタンと出会ったのは、財部



北小学校への赴任がきっかけでした。平成20年の学校創立百周年記念式典で児童がゴツタンを

披露すること

になり、三味

線の経験があ

る永山さんが

子どもらを指

導。荒武さん

の死後、一時

下火となつて

いたゴツタン

は、財部北小学校の児童らの各種

イベントでの活動により、次第に

息を吹き返していききました。

現在では、永山さんの呼び掛け

に因って「ふるさとを思いやる会

ゴツタン倶楽部」が設立され、市

内外で美しい音色を響かせていま

す。こうした地域に根ざした活動

で「ゴツタンの音色を次の世代に

受け継いでいってほしい」と永山

さんは願っています。

「ゴツタンの魅力は手軽なもの

でありながら、本物の音がでること

と」と話す永山さん。「地元の木



を使ったゴツタン製作に関わり、その魅力を全国に発信したい」と今後の目標を話していました。

盆地生まれの

元気をいただきます

ひと手間かけた里芋料理

里芋のすり流し汁

※1人分50キロカロリー、塩分1.0グラム



●材料（4人分）

里芋…100g ニンジン…40g 生椎茸…20g
卵…1個 だし汁…500cc 小ネギ…10g
[A] 薄口しょうゆ…大さじ1 酒…小さじ1
塩…小さじ1/4

●下準備 生椎茸、ニンジン…同じ大きさに薄く切る
里芋…皮をむいて小さく切り、卵と一緒にミキサーにかける

●作り方 ①鍋にだし汁と切った生椎茸とニンジンを入れて柔らかくなるまで煮たら、[A] で味を付ける
②①に里芋を少しずつ入れ、浮き上がってきたら火を止め、小ネギを散らす



里

芋に多く含まれるカリウムは、血圧を上げる作用があるナトリウムの排出を促し血圧を下げることから、高血圧の予防・改善に効果があるといわれています。

ワン!ポイント

里芋をむくとき皮膚に触れるとかゆくなるので、酢水の中で扱ったり、ゆでてから皮をむいたりするとかゆくなりません。

◎問い合わせ

健康課 0986-2312765